

- 1 主題名 みんなが使うみんなのもの 規則の尊重C-(10)
(資料名「きいろい ベンチ」東京書籍 新しいどうとく2)
- 2 ねらい
みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。

3 主題設定の理由

本題材は、内容項目C-(10)「主として集団や社会との関わりに関すること」を受けている。人が社会生活を営むためには、他の人の気持ちや立場を考えたり、自分の言動が他に与える影響を考えたりする姿勢が必要である。毎日の生活の中で公共物を大切にし、約束やきまりを守ろうとする意欲を高め、明るく楽しい生活をしようとする態度を育成するものである。

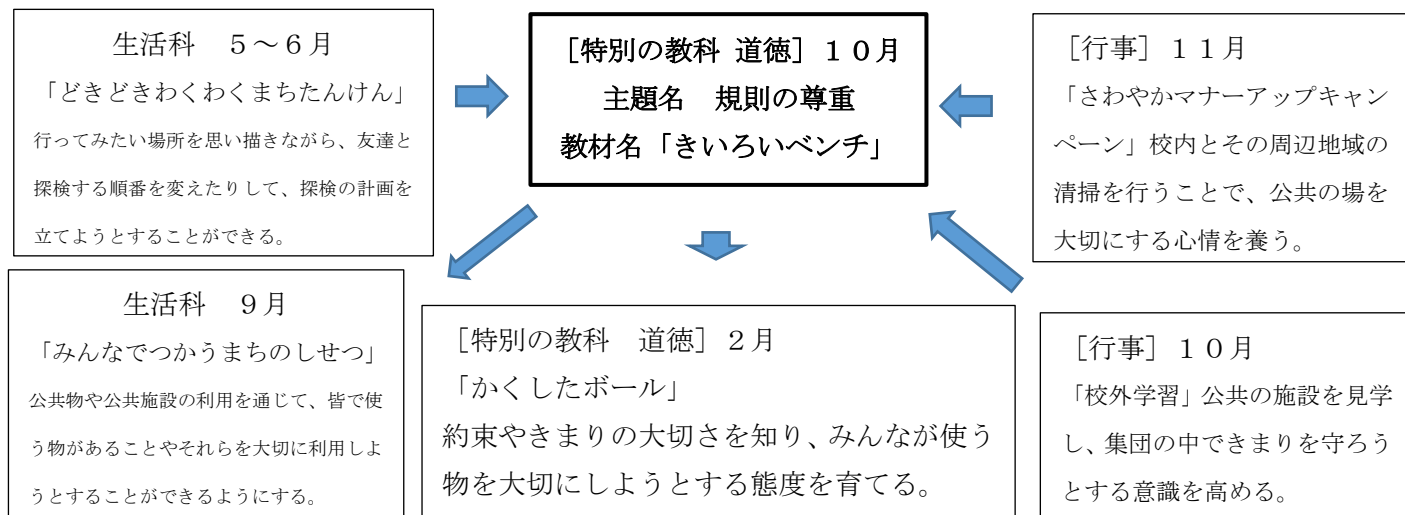
実態調査		(令和3年9月14日実施 30名)	
1	みんなが使う場所や物には、どんな物がありますか。	・公園 ・学校 ・トイレ ・遊具 ・教室 ・道路	
2	みんなが使う場所や物を大切に使っていますか。	はい 28人	いいえ 2人
3	それはなぜですか。 (複数回答)	・みんなのものだから ・大切にしないとなくなってしまう ・他の人に迷惑がかかる ・みんなで遊ぶため・・・etc.	

本学級の児童は、学級の約束やきまりを守って友達と仲良く過ごせる児童が多い。しかし、児童によっては勝負ごとや遊びの中でつい自分中心にルールを変えてしまい、友達とケンカやトラブルになったりすることもある。また、水道やトイレなどみんなが使う場所を大切に使う場所であることは分かっているが、具体的に行動で実践できている児童は少ない。話し合いの場で約束やきまりを守ることの大切さを話し合ってきたが、なぜそれが必要なのかあまり理解していないように感じた。そこで、この授業を通して、約束やきまりは誰もが安心して楽しく生活できるようにするためであると気付かせたい。また公共物を大切にしようとする意識を身に付けさせたい。

そこで、本教材では、公園でたかしとてつおは紙飛行機遊びに夢中になる。その楽しさのあまり、ベンチを泥靴で汚してしまう。後から来た女の子がベンチに座り、スカートを汚してしまい、おばあさんが泥を払いながら話している。その話を聞いて、二人は「はっ」として考え始める。

児童の生活にある身近な題材であり、楽しさに我を忘れてしまつての失敗もよくありがちなことである。楽しさに興じる姿に共感するようにして、二人の失敗について、感じていることや反省していることを考え、ねらいに迫りたい。

4 他教科との関わり



5 本時の指導

(1) 目 標

○ みんなが使う物を大切にし、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。

(2) 準備・資料

・場面絵・道徳の教科書・お面（役割演技用）

(3) 展 開

	学習内容・活動	予想される児童の反応	指導上の留意点◎評価【方法】 ○支援を要する児童への手立て
導 入	1 みんなが使う場所や物を普段どのように使っているか振り返る。	- 汚さないように使う。 - 壊さないように大切に使っている。	- みんなが使う場所や物にはどんな物があるか確認し発表させる。 - 公園・小学校・教室など
展 開	2 教材を読んで考え、話し合う。 (1) 本時の課題をつかむ。		
	みんながつかう場所や物のつかい方について考えよう。 (2) 登場人物の心情について考える ○何度も何度も夢中で紙飛行機をとばした時、二人はどんな気持ちだったかな。 ○女の子はベンチに腰掛けて、どんな気持ちになったでしょう。 (3) 役割演技を行い二人の心情を考える。 ◎「はっ」として顔を見合わせた二人はどんな気持ちでしょうか。	- おもしろい。 - 高いところから紙飛行機をとばすと楽しい。 - スカートが汚れて悲しい。 - わるいことをしちゃった。 - ごめんなさい。 - 遊びに夢中で気が付かなかった。	- 教材は教師が読み聞かせる。 - 子ども達の休み時間の様子を思い出させ、この二人はどんな気持ちだったのか問いかける。 - 女の子だけでなく、おばあさんの気持ちにも触れる。 - 隣の人とひろし役とてつお役にわかれて、役割演技をし、自分だったらという視点で、二人の気持ちを考えさせる。 - 机間指導をし、良いと思ったペアを前に出し発表させる。
終 末	3 自分の生活を振り返る。	- じゅんばんを守る。 - 汚さない。壊さない。 - 次に使う人がいることを考えて使う。	- ポートフォリオ・ノートに自分の考えを書かせる。 ○手が止まっている児童へは、他の人が使いたがっていたらあなたははどうする？と質問内容を具体的に考えを書かせる。
	○これからどんなことに気をつけて生活したいですか。	- 約束やきまりを守る。 - 次に使う人がいたら譲ってあげる。 - 物を汚したり壊したりしないようにする。	[目標を達成した児童の姿] ◎みんなが使う物や場所をきまりを守って使おうと考えている。【ノート・発言】
	4 教師の説話を聞く。 公園をキレイにしてくれる人がいることを話す。		みんなが使う場所や物を大切にしていこうという意欲を高める。
	5 本時の学習を振り返る。 ふり返りをノートに書く。		発表ができた、考えが書けた等を項目毎に自己評価させる。